

R I 第 2820 地区

THE WEEKLY REPORT



# 水海道ロータリークラブ

本年度クラブテーマ

## ENJOY ROTARY

**SERVICE Above Self**

2005-06 年度 国際ロータリー会長  
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

### 例会予定

6月28日

さよならパーティー

6月は親睦活動月間です。

VOL. 43 No.42 (通算No.2082)

### 2006年6月21日(水)例会プログラム

点鐘

ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸報告

幹事報告

会長挨拶

事業実績報告

各委員会委員長



2005~2006年度

会長 青木 清人

幹事 熊谷 昇

創立 1963年9月25日

例会場・例会日

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30 ~ 13:30 0297-22-1251

事務所

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://kinuyou.com/rc/>

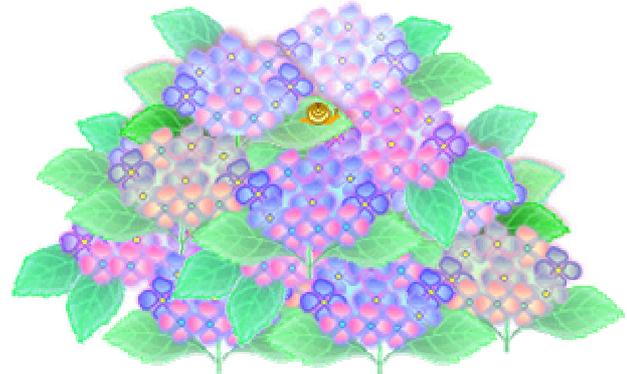
本例会でのおもな事項

\* 会長挨拶

\* 2005 - 2006年度事業実績報告  
各委員会委員長

誕生祝

会員 山野井周一会員



諸報告

次年度より (青木正弘次年度幹事)

次年度の会費振込用紙を皆様のボックスに入れさせていただきました。7月に入りましたらお振込みいただければと思います。

瀬戸隆海青少年交換委員長

コペンハーゲンの国際大会に出席して参りました。青少年交換委員会がありその会議で交換相手国を見つけるわけですが、当地区はすでに決まっておりますので顔を出すだけでした。開会式では、RI会長は家族をステージで紹介し、また一年間の報告しセレモニーは終わりました。来年はソルトレイク大会です。

国際奉仕委員会 (北村陽太郎委員長)

次年度ツウンバ交換学生は、只今2名です。6月28日で最終締め切りとさせていただきます。

幹事報告 (熊谷 昇幹事)

週報受理 なし

例会変更通知受理 龍ヶ崎中央RC 6月23日(金) 午後6時30分 やぐち亭

会長挨拶 (青木清人会長)



皆様、こんにちは。

例会場での会長挨拶も残り2回になりました。話し忘れた中に、私の故郷滋賀の紹介がありました。私は、琵琶湖の一番北の木ノ本という町で生まれ育ちました。米原から長浜、木ノ本にかけてを北近江、湖北といひます。戦国時代の舞台であり、その時代に活躍した人物・武将との関わりが深く、旧跡も数多くあります。NHKの今年の大河ドラマ「功名が辻」はまさに近江の国、湖北が舞台です。山内一豊が武将としての足がかりを築いたのが湖北であり、秀吉に用いられ長浜城主にもなっています。その妻、千代は湖北の生まれになります。間もなく木ノ本の賤ヶ岳の戦いが放送されると思います。是非ご覧下さい。また、湖北は観音の里とも言われています。もともと仏教が朝鮮半島より若狭、近江に入ってきたといわれています。お寺も多く、国宝・国宝級の十一面観音像を始め仏像がゴロゴロしています。戦国時代の戦いのたびに、村人は仏像を土に埋めたり、湖に沈めたりしながら壊されないように守ってきたそうです。信仰心の深い土地柄です。一見の価値があると思います。そのうち、近江・湖北の旅を

企画したいと思います。

最後に6月7日の理事会報告を致します。

- ・ 「筑波かすみ里帰り基金」の募金について
  - ・ 水海道クラブ内では承認
  - ・ 水海道クラブより地区内他クラブへ募金協力依頼については否決

以上です。

## 2005 - 2006年度事業実績報告

### クラブ奉仕1委員会 (松村仁寿委員長)



RIテーマの下に、ガバナー、クラブ会長の方針に基づき、各委員会はそれぞれ活発な活動をされた事、各委員長さんはもとより、委員の皆様は御礼申し上げます。また、本委員会は会長テーマENJOY ROTARYに一致協力して迅速に行動する事ができ、それと同様に委員会も互いに円滑に仕事ができるような関係を保ち、誤解や活動の重複を避けるために、意志の疎通を図ることが出来ました。効果的なクラブ運営について皆様から頂いた貴重なご意見、次年度の活動に活かしていきたいと思います。

### 職業分類委員会 (飯塚三夫委員長)



何年か前の規定審議会において、ロータリーの大きな特徴だった「1業種1人」が大幅に改正され、当クラブでは「1業種5名」となった。これらのことを踏まえて昨年度の委員長さんが画期的な職業分類表を作成してくださいましたので、この分類表に沿って関連する会員増強委員会、選考委員会とも連絡をとり、会員の増強に努めてまいりましたが、残念ながら本年度の新入会員は二名に留まりました。

新会員の氏名、入会年月日及び職業分類は下記の通りです。

氏名	入会年月日	職業分類
倉持功典会員	H17.8.3	食品販売
橋本忠昭会員	H17.9.7	食品販売

### 会員選考委員会 (鈴木邦彦委員長)

会員に推薦された2名について、その人格、職業上及び社会的地位について、調査しロータリー活動に積極的に参加できるか検討した結果、会員として適格であると認定し、理事会へ答申した。

### 会員増強委員会 (長塚 暁副委員長)



今年度の増強は、純増3名を目指して参りましたが、前期に2名のみ入会になってしまいました。推薦者は他に1~2名ありましたが、結果的に当委員会まで上がらずに終わってしまいました。前期に入会された2名の方は、入会時より積極的に活動しております。

次年度に於ける当委員会の活動に期待しております。



### CICO (五木田利明委員長)

本年度は、委員長を承りました。当初地区とクラブの連絡係をすればよいとのことでしたが当クラブは充分

コンピューターを使いこなす方が多く私が出る幕がありませんでした。何とか会員間のコンピューター使用において温度差を少しでもつめられればと思いましたが具体的な対策を講じることなく過ぎてしまいました。次年度は委員会が別な型になるとのことですが、この点少しでも解消していかなばならないと思っています。とりあえず報告とさせていただきます。

#### 新世代奉仕委員会 (福田克比古委員長)



1. 2005年10月14日～16日茨城県立中央青年の家(新治村)で実施されたライラセミナーへの参加、当クラブより受講生3名参加しました。
2. 新世代奉仕月間に際し、昨年9月28日の例会において、ローターアクトの活躍状況をつくば学園RAC会長の秋田武史様に、更にGSEイタリア研修の報告をつくば学園RACOGの山之内桃子様にいただきました。
3. 水海道、谷和原のボーイスカウト、ガールスカウトに対し支援助成金を贈りました。
4. 1クラブ1プロジェクトのプログラムに参加しました。

#### 国際奉仕委員会 (北村陽太郎委員長)



今年度もツウンバロータークラブとの継続事業の青少年交換プログラムを実施したほかWCS事業でのタイ訪問も行いました。ご協力いただきました会員の皆様はじめ、関係者各位の皆様へ感謝申し上げます。

1. ツウンバロータークラブ交換学生4名派遣(8月6日～8月21日)
2. ツウンバロータークラブより交換学生受入(1月5日～1月15日)
3. 地区大会にて国際奉仕協力賞受賞
4. 米山奨学生(中国)の受入
5. WCS事業でタイへ贈呈式のため訪問(2月10日～2月13日)
6. 地区の一年交換学生(ブラジル)の受入
7. GSEでトルコよりメンバー受入(4月22日～4月26日)

#### 会報委員会 (横山 修委員長)



クラブ週報の発行に際し、週報の内部・クラブ歴史・記録の充実を図りました。また会員投稿記事及び活動内容、国際ローター地区情報、ローター情報委員会よりの一口メモ等の掲載にも務めてまいりました。原稿の提出等ご協力頂き有難うございました。なお会員各位、事務局の和久さんには委員会一同深く感謝申し上げます。

#### 親睦活動委員会 (瀬戸隆海委員長)



2005 - 2006年度、次の行事を行いました。

1. ビジター紹介
2. 毎月の誕生祝
3. 納涼会 (8月)
4. 忘年会 (12月)
5. 新年会 (1月)
6. 家族親睦ゴルフ大会 (5月)
7. 観劇会 (5月)

ご協力有難うございました。

## 出席報告 (白井 豊委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜 暇	メーク
49名	39名	10名	0名	27名

出席率 100.00%

## ニコニコボックス (石塚克己SAA)

誕生祝御礼 会員 山野井会員

ワールドカップ日本戦に一喜一憂する事無く、世界のスーパースターのプレーに注目しましょう。青木(清)会員

青木エンジョイ年度も事業報告の季節です。皆さん宜しくお願いします。熊谷会員

この会場での例会は今日と来週の2回となりました。青木会長、熊谷幹事最後まで気を抜かないで!! 気を抜くとサッカーに日本チームと同じになりますよ。青木(正)会員

一年間米山ご協力有難うございました。田上会員

何もなくて一年過ごさせていただきました。山崎(善)会員

コペンハーゲンの国際大会に行ってきました。瀬戸会員

褒められました。瀬戸・武藤 各会員

特にありませんが、今回も何となくニコニコに入れさせていただきます。横山会員

先週の例会並びに新旧委員長会議欠席致しました。また、来週の例会欠席させていただきます。福田会員

弁当手配、ニコニコ報告も次週例会残り1回になりました。今日は、お弁当ピタリ賞でした。石塚(克)会員  
早退します。染谷(昭)会員

例会欠席しました。山野井・大塚・松崎・斉藤・鈴木(豊) 各会員

入金計 ¥37,000 累計 ¥1,982,000

## ロータリー情報委員会より 一口メモ

レクリエーション関係の親睦活動の起源:1928年、エスペラント語に関心を寄せていたロータリアンたちが結成したグループが最初のもと考えられている。

会報委員会 委員長 横山 修 副委員長 山野井周一 委員 根本恒夫

## RIニュース 指導力とは

### 親愛なる同僚ロータリアンの皆さん:

今年度、国際ロータリー(RI)理事たちはすばらしい勇気と思切りの良さを示してきました。ロータリークラブを創立することすら難しそうに思えるロシアの法律にもかかわらず、理事会はその国に最初のロータリーの地区を形成することを決定しました。中国での拡大の幕開けと北京および上海の2つの仮クラブを承認するという事は、キューバに復帰し、また、コソボやベトナムにロータリークラブを開くという決定と同様に、勇気と思切りの良さを示した、さらに顕著な実例です。

### 指導力は客観的に考える能力

しかしながら、指導力は勇気と思切りの良さ以上に大切です。それは、客観的に考える能力です。たとえば、クラブ会長は、個人的には気に入らないような多数決による決定を、受け入れなければならないこともあります。ガバナーは、たとえ自分の地区内のクラブには評判のよくない決定事項であっても、それらが地区の最大の利益である場合には、その決定を受け入れる必要があります。

理事会は特に重い負担を背負っています。それぞれの理事は2つのゾーンから選出されますが、理

事としては2つのゾーンだけでなく、国際ロータリーにとって何が一番いいかを見つけることが肝要です。理事は理事会で2つのゾーンを代弁する権利をもっています。しかし、それを決定にもち込むには、組織の利害関係も考慮に入れなければなりません。

RI会長として、私自身も同様に、私の意思とは異なった多くの決定事項を受け入れなければなりませんでした。私たちの組織の成長に肝要だったからです。

### 好き嫌いを超えてものを見る

今日、指導力の養成のための機関は世界中に数多くあります。私が好きなアプローチの一つは客観性による指導力です。マネージャーのグループと一緒に、リーダーが目標を決定し、そして、それぞれのメンバーが個々に、お互いに合意した目標に向かって働きます。私の好きなもう一つの指導力のテクニックは委譲です。責任の委譲は同僚に対する自信を示します。責任の委譲を受けると、マネージャーたちは進捗状況によって仕事のフォローアップが可能になります。

良いリーダーは個人的な好き嫌いを超えてものを見なければなりません。人は自分の生活のビジネス的な面を、個人的な面から切り離さなければなりません。それがビジネス 個人両面で良い結果を得ることにつながります。

### 指導力と動機づけが重要

指導力および動機づけは、ロータリーにおいて極めて重要です。成功はしばしば勇気と思切りの良さにもとづいています。2月のサンディエゴにおける国際協議会の際に、元国際ロータリー(RI)会長で、ロータリー財団管理委員のビチャイ ラタクル氏が、勇気と思切りの良さに焦点を当てた、指導力と動機づけに関するすばらしいスピーチをなさいました。ビチャイ元RI会長、良いご教示をありがとうございました!

## 協力がキーワード

### ロータリーの偉大な2つの資産

ロータリーには2つの偉大な資産があります。120万人を超えるロータリアンたちによるネットワークと、私たちのトレードマークであるロータリーの歯車の徽章です。これらは私たちと協同しようとするほかの組織にとって、非常に魅力的に映ります。しかし、私たちがパートナーを選ぶときには、慎重でなければなりません。

ビジネスの世界で、巨大な企業がほかの巨大な企業を買収するのは、その工場や1万人以上の従業員が欲しいのではなく、世間によく知られているブランド、つまりトレードマークの付いた製品を、さほど費用をかけずに手に入れることができる方法だから、という単純な事実によるのです。

ロータリーはロータリーの徽章というトレードマークをもっています。そして私たちはその歯車の高潔さを守らなければなりません。それは決して売り物であってはならないのです。

### 地域レベルでも協力を

しかしながら、協力は地球規模のプロジェクトだけで行われるものであってはなりません。私が世界を旅行している際、クラブおよび地区がさまざまな地元の組織体と一緒に活動している事例をしばしば目にしました。そして私は、ロータリーがほかの組織と協力して活動をして、その主体性を失ったというような事例は一つもないことを保証します。もう一度言います。ロータリーは協力において勝利を得ています。

私は、ロータリアンやクラブ、地区がプロジェクトを実施する際には、その大小にかかわらず、パートナーを探し続けるよう強く主張します。私たちのネットワークやトレードマークは永遠に私たちのもので、決して売り物ではないことを私たちが肝に銘じている限り、協力関係を結ぶことは、有益以外の何ものでもありません。

ロータリーはすばらしい組織です。そして、私たちの歴史の第2世紀最初の年にも、私たちは確実に前に向かって進んでいます。超我の奉仕を通して、世界中に国際ロータリーの偉大なリーダーシップを示し続けようではありませんか。